

取組：小中高連携を軸にした、授業実践ベースによる実践的研修機会の確保

当該地域の特性等を踏まえた課題分析の視点

課題：広大な県土において、授業実践ベースによる実践的研修機会の確保。

重点項目：①求められる英語力を有する生徒の割合、②生徒の英語による言語活動の割合、③英語担当教員の英語使用、④スピーキングテスト回数、⑤ライティングテスト回数（英語教育実施状況調査項目からの5点）

Plan

■取組計画

本県の強みを生かした、授業実践ベースの各種研修会、英語教育の人材育成、各種諸調査結果の活用、英語使用場面の創出等。

- ・本県の強み 指導主事及び推進リーダー教員の小中高連携意識高。各教育事務所及び各市町村教委の密なネットワーク。
- ・本県の弱み 広大な県土（移動時間長）、教室外の英語使用機会少。

■体制

検討委員会（外部有識者等）、開発チーム（指導主事及び英語教育推進リーダー）、実施事務局（県教育委員会事務局）

Do

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会等の多くはオンラインに切り替えて実施

■取組内容

- ・授業実践に係る各種研修会
→どの研修会も小中高教員すべて参加対象。参加者で指導案検討。
- ・本県英語教育をけん引するリーダー人材育成
→英語教育推進リーダーの積極的活用。県指定リーダー教員育成。
- ・英検IBA受験等による生徒の英語力の把握
→中2及び高2全員受験。諸調査等の分析を踏まえた指導改善。
- ・パフォーマンス評価指定校における研究及び実践
→単元計画及び評価計画の吟味。評価場面の映像資料収集。
- ・生徒の英語活用場面の創出
→英語ディベート、イングリッシュ・キャンプ等。

■成果普及資料作成

- ・授業改善映像資料(DVD)作成
本県の授業改善の視点で各授業実践を紹介
- ・実践報告書の作成
公開授業やパフォーマンステスト等の学習指導案等を収集、整理

Check

岩手県におけるR3英語教育実施状況調査結果から

		①生徒の英語力	②生徒の言語活動	③教員の英語使用	④S Test (平均)	⑤W Test (平均)
中学校	目標値	46%	95%	90%	4.0回	4.0回
	達成値	43%	82%	74%	5.1回	3.5回
高校	目標値	46%	100%	100%	7.4回	6.4回
	達成値	49%	85%	49%	3.9回	2.9回

※ 表のゴシックは目標値を達成

Action

■改善の方向性

生徒の英語力向上を目指した、資質・能力及び評価規準の明確化と着実な評価、言語活動の高度化を支える教員の力量向上等、各要素の歯車の噛み合った「仕組みづくり」が必要

■次年度の取組

重点項目5つについて、より効果的かつ着実に達成し、生徒の英語力を着実に向上させるために、次の3点を重点化する。

- ・単元等のまとまりを重視し、資質・能力の育成を目指す授業改善
- ・「指導と評価の一体化」を前提とした、評価計画の具体化
- ・学校が目指す児童生徒の資質・能力の育成に向けた、外国語教育の関わり

成果の普及

- 授業改善映像資料(DVD)（小中学校編/高等学校編） → 県内全小中高校へ配付
- 授業実践の学習指導案等を集約した「実践報告書」 → 教員個人及び管理職へ
- 「英語科通信」発行による成果普及 → 他
- 公開授業映像の蓄積と研修会等での活用 → 他の研修参加者へ